

## 庄右衛門一揆（土生義民騒動）

上島町



深坂池親水公園内のお堂  
(お堂の中に庄右衛門の碑がある)

弓削島では、ほぼ同条件にあった上村と下村の年貢の割合が異なっており、以前から下村の人々は強い不満を抱いていた。加えて、宝永元（1704）年、同3年と災害が続き、人々は困窮した。

宝永5（1708）年閏正月、土生の組頭（庄屋の補佐にあたる百姓）五郎左衛門ら5名が、庄屋に年貢の減免を願い出た。庄屋は彼らから事情を聞いたが、それ以降何の音沙汰も無かったため、村人10名を加えた15名が再び庄屋に願い出て、「もし聞き届けられなければ、一同今治へ直訴する」と

迫った。庄屋は首謀者とみられる5名を捕らえて今治へ送り、残り10名を村内の土蔵に拘束した。今治藩の裁きの結果、五郎左衛門は領内追放となり、組頭であった庄右衛門は免職となるなどの処分を受けた。

処分を受けたにもかかわらず、減免要求が不首尾に終わった百姓らは再び立ち上がった。同年11月11日、庄右衛門が中心となって、30名の連名で再び庄屋に年貢の減免を願い出た。庄屋らがそれを代官所へ通報したため、藩の郡奉行や代官らが弓削に出向き、願い出た全員を捕らえた。その結果、中心となった庄右衛門ら3名が斬首獄門となり、彼らの息子も斬首、妻子は追放となった。それ以外の10名は妻子と共に追放という厳罰に処せられた。

事件から約50年を経た明和元（1764）年、彼らを悼む村人たちの手により庄右衛門の旧屋敷に供養塔が建てられ、定光寺の門前に関係者の墓が建立された。現在、深坂池親水公園内のお堂には、庄右衛門の名を刻んだ碑がまつられている。

### 〔参考資料〕

愛媛県史編さん委員会 『愛媛県史 近世 上』

愛媛県教育委員会 「えひめ人権の道しるべ」

上島町立弓削中学校 人権・同和教育地域教材「庄右衛門一揆」

弓削町教育委員会 『ゆげみてあるき』